

JTA TENNIS RULE BOOK2018のセルフジャッジの改正について

2018年のテニスのルール改正におきまして、セルフジャッジの方法が一部変更されました。そのため、枚方リーグのセルフジャッジのやり方もルール改正に合わせて変更となります。

2018年のセルフジャッジの主要な改正部分を以下に記述します。

《ジャッジするコートと人》 ※ルールブック 61ページ 14)参照

- ①アウト、フォールト、グッドは、ネットから自分側のコートで自分側のプレーヤー・チームのいずれか。(従来通り)
- ②ネット、スルー、タッチ、ノットアップ、ファールショットは、自分側・相手側のコートで、両プレーヤー・チームのいずれか。
 - 1) ネットとは・・・
 - サーブがネットに触れて超えたこと。
 - サービスのレットのコールはレシーバーがコールする
 - レットはネットして正しいサービスコートに入った場合に発生します。
 - 2) タッチとは・・・
 - ボールが身体に触れたこと。
 - ラケットや身体がネットに触れたこと。
 - ボールがラケットにかすったこと。
 - 3) ファールショットとは・・・
 - 故意の二度打ち。
 - オーバーネット。

今までは、タッチ、ノットアップ、ファールショットは自己申告限定でしたので、異なった判定の場合には、双方話し合いの上納得して試合を進めて下さい。

《ミスジャッジ》 ※ルールブック 62ページ 17)参照

ミスジャッジを自らただちに訂正した場合、1回目はレットで2回目以降失点となります。

「1回目のミスジャッジ＝故意でない妨害」

「2回目以降のミスジャッジ＝故意の妨害」ということで理解下さい。

アウト、フォールトのミスジャッジもネット、スルー、タッチ、ノットアップ、ファールショットのミスジャッジも同様に扱われます。

ルール改正については、まだまだ改正されたばかりで、理解が及ばないところもあろうかと思いますが、皆さんには、ルールについての情報を逐次報告してゆく予定です。

枚方テニスリーグ 2017 の教訓より。。。

「試合の調整等でメールを受理されましたら速やかに返事を返していただけますようお願い申し上げます。」

宮原会長からの「枚方テニスリーグ2017終了にあたって」のメッセージ

- 枚方テニスリーグ2017に参加の各チームの皆様、お世話にあたっていただいた代表者の方、ありがとうございました。枚方市テニス協会を代表して感謝いたします。
- 例年参加チームの方々からは、楽しくやらせていただきました等、感謝のお言葉を頂戴する反面、試合日程調整においてのご苦勞も多数届いております。参加チームの代表者に於かれましては、お忙しい中ではありますが、メールに対する返信は、迅速かつ丁寧な対応を引き続きよろしく願いいたします。
- また、早々に試合を消化してくださったチームに不利益を生じないように、全試合消化をお願いいたします。
- 今後も、テニスの普及発展に皆さまのご協力をよろしくお願いいたします。

“テニスを楽しみましょう”

枚方市テニス協会 会長 宮原茂利

枚方市テニス協会が主管および主催する大会に出場される皆様へ

日本テニス協会資料より

フェアプレイはスポーツの基本です。テニスも例外ではありません。
対戦相手をレスペクトしてプレーすることが大切です。

正しいセルフジャッジを目指し、次の5原則の徹底とご理解をお願いします。

- ① 判定が難しい場合は「グッド」相手に有利に！
- ② 「アウト」「フォールト」はボールラインの間に、はっきりと空間が見えた時！
- ③ サーバーはサーブを打つ前に、レシーバーに聞こえる声でスコアをアナウンス！
レシーバーは、うなずく・手を挙げるなど答えてあげましょう
- ④ ジャッジコールは、相手に聞こえる声と、ハンドシグナルを使って速やかに！
- ⑤ コートの外の人、セルフジャッジへの口出しはしない！

セルフジャッジでは、プレーヤーの人格が試されています。